

9日(月)～13日(金)
短縮授業50分×3
① ② ③
16日(月)～20日(金)
短縮授業50分×3
④ ⑤ ⑥



平成25年度 1学年通信
第33号
発行 大阪府立堺工科高校
072-241-1401
1年担任団 学年主任 下出豊勝

ラカン・・・みんな



二十世紀の精神分析家にラカンという人がいます。たいへん難解なので読解するのは歯が立たないのですが、僕なりに説明してみます。

たとえばラカンの文章に「行為は必ず失敗する。」というのがあります。どうにも希望をなくすような意見ですが、もちろん成功する行為もあるけれど、もし成功しても願望とは必ず異なった結果になるというのです。だから願望は決して充足されない。それは願望するのが自分自身ではなく、「他者」だからです。

人の願望が、意識的な自分ではなく、自分では意識していない「エス」(それ)によってされる、というのは十九世紀末から二十世紀初めにフロイトが考えた事です。人が何気なく行った行為にも無意識の願望が潜んでいる、と。ラカンはこの願望の主体を「大文字の他者」とよびます。英語で自分を表すIを大文字で書くようなものです。人は自分ではない別格の他者を心の中に持っていて、その要求を自分の要求として求めるのだ、ということだと思います。

「みんな」という言い方があります。僕は「みんな」が欲しいものが欲しいのです。他人に影響されずに何かを願望することは難しい。また、「みんな」のしていることが自分には許されていないと思い、不満を感じるのです。

この「みんな」は周囲の人間の多数という意味ではありません。この「みんな」は心理的な誰かであって、実際には一人も該当しない場合も多く見られます。これがラカンの言う「大文字の他者」に近いと思います。

「みんな」は心理上の存在だと今言いましたが、近頃ではまた心の外にも「大文字の他者」のような存在があるように思われます。テレビのバラエティ番組や、インターネット上で表明されるある意見や嗜好が「みんな」の考えや好みだと思えたりして、自分の願望が決められるということが無いでしょうか。

精神分析のような考え方は、「(みんな持ってるから)おれも欲しい」とか、「(みんなしてるのに)なんでおれやねん」というような一見根源的に思える心理を反省するのに役に立ちます。

しかし、心理学の無意識や脳科学の脳のせいにせず、ラカンの言うのが当たっているのならできるだけ上等の「大文字の他者」の願望を願望し、自分で選んだ行為の結果には責任を持つべきでしょう。

八組担任 荒木秀人

脳の働きを高めるウォーキング

背筋をシャキッと伸ばし、足速に歩く姿を見掛けると、美しいと感じるだけでなく、知性や教養さへ感じます。積極的に人生を歩んでいる印象を受けます。背を丸めてうつむき加減に歩けば、運動効果も期待できません。

さて、運動としてのウォーキングを実践するとき、まず距離と速度がポイントになります。4kmを1時間である場合消費されるカロリーは、体重1kgあたり3kcalといわれます。体重70kgの人なら210kcalが目安です。これに速度や坂の有無などの諸条件が加わります。自然な歩きは時速4kmとされていますが、健康な人が健康のために歩く場合、大股でさっさと時速5.5kmの速度で30分は歩くことが必要でしょう。

歩くとはいえ、急いで歩くと心臓に負担がかかることは当然。運動の強さを知る上で便利な心拍数をチェックする必要があります。

歩く頻度は毎日行うことが望ましいのですが、毎日やらなければだめというわけではありません。一週間に一度、日曜日ごとに1時間しっかり歩くことを習慣づければかなりの効果が期待できます。ただし一週間に一回では効果が薄くなります。また、体調が悪いときはもちろん空腹時や満腹時もウォーキングには適しません。寒さや暑さを我慢して歩くことも適切ではありません。強い雨や風の中を無理して歩いても効果はほとんどないとされています。楽しくなければ歩かないぐらいの気持ちで続けてはいかがでしょう。(つづく)



徐々に減少

遅刻指導強化の3ヶ月目

遅刻

学年の目標である『基本的生活習慣の確立』と、学校の課題でもある遅刻数を減少させる取り組みとして、9月から実施している「遅刻の回数による保護者の方の来校と、対象生徒への課題の実施」により、この時期、昨年・一昨年と非常に多かった遅刻数が大きく減少しました。

何かペナルティーがあるから遅刻をしないようにしようという考えがあるから遅刻をしないようにしようとして減少してきたのかと考えます。もう一方では自分が遅刻することで保護者の方に学校に来てもらう大変さ(迷惑をかける)を考えたこともあるのかもしれないと思います。さらにもう一方は遅刻について考えが変わり、努力をしている人が多くなってきたことも考えられます。

何もなくとも自身で努力しながら良い生活習慣を身につけることが大切です。

これらの生活態度が進路選択に反映することも必要であるという考えから、校内でも議論をして考えているところです。

本日遅刻回数に応じての課題指導と生徒・保護者の方に来校していただき校長から指導をしていただきました。

一家庭でもご指導ください。自身生活がルーズになり、それが原因で取り返しの付かないことになってきます。

今回指導強化が始まったことで、また、月間4回の遅刻の生徒は多数いたようですが、指導がなかったからよかったのではなく、遅刻についてもっと真剣に考えるべきです。

	4月	5月	6月	7月	8.9月	10月	11月
1組	8	25	57	44	33	32	38
2組	15	44	56	26	47	64	48
3組	4	29	42	19	31	26	37
4組	13	37	34	28	26	44	40
5組	11	28	30	15	30	55	43
6組	1	11	10	6	8	14	14
7組	20	72	68	58	59	67	72
8組	10	41	63	31	44	65	73
9組	5	36	48	32	36	36	28
1年生合計	87	323	408	259	314	403	393
昨年 同期	131	322	560	210	597	764	755
一昨年 同期	257	578	821	406	943	874	1163

親の労働聞き書き

私は父親の仕事あまり知りませんでした。父親の仕事は橋のパーツ(それぞれの部品)を作ることです。それはいろいろあり、一つのパーツを作るのにも時間がかかるようなので、すごくやりがいがあると感じました。そしてやりがいがあるのは一つのパーツを作っているのには、一つのパーツを作り終え、すべてのパーツがそろったときが一番やりがいがあるみたいです。そして、父親の仕事で大変なところは無事故・無災害・弟子ごとを終わらせることです。

私は今まで父親の仕事が大変だとは思っていませんでしたが、やはりやりがいがある仕事だと感じました。

この仕事を選んだのは、身内の紹介で選んだようです。

私はこういう仕事もよいと思いますが、父親の仕事より、また別の仕事をしたいと思っています。

【夏休みの学年課題から修正なし】